

おかやまの木で家づくり支援事業 実績報告書に添付する確認写真について

1 写真撮影場所

助成対象住宅の工事現場（納材地）とする。

但し、上記で撮影困難な場合は、製材工場、プレカット工場等でも可能とする。

2 写真の体裁等・・・次の写真を単一部材毎又は複数の部材毎に撮影

①部材の全体写真（全長が写った正面写真、仕口加工の分かる横面・斜面写真等）

②看板の文字が鮮明に読める写真（裏面参照）

③看板には、「施主名」、「部材名」、「樹種」、「数量」、「納材日」を記載

④JAS製品の助成を受ける場合は、JASマークの写真

（但し、撮影困難な場合は省略可）

（看板例）・・・記載内容が鮮明に読める写真を添付

○ ○ 様 邸			
土台、大引、根太	ヒノキ	○. ○○○○m ³	
柱、間柱、筋交	ヒノキ	○. ○○○○m ³	
(内JAS製品		○. ○○○○m ³)	
母屋、束、棟木	スギ	○. ○○○○m ³	
計		○. ○○○○m ³	
納材日 令和 年 月 日			

※ 数回（日）に分けて納材する場合は、木拾い表に納入日を記載し、看板数量と一致させること。

JAS製品の助成を受ける場合は、JAS製品の材積を内数で材積を記入

3 梱包した納材品の中に外材等の補助対象外の部材がある場合

材料を分けて撮影する必要はない。

但し、写真に補助対象となる部材が分かるように手書き等により明示すること。

（部材の全体写真等が撮影できない場合は、上棟時の写真でも代用可とするが、可能な限り、申請部材の形状、本数が分かる写真を提出すること）



確認写真見本（データ形式で提出するのではなく写真帳形式で提出）

〇×〇 様邸

施主名を記入

〇△建築(株)

施工業者名を記入

部材名を記入

梁桁 軒桁

JASマーク



JASマーク

JAS製品の上乗せ助成を受ける場合、JASマークが貼付・印字されている部分を可能な限り撮影し矢印で明示



JASシール・印字の見本

部材名を記入

梁桁 軒桁

